



北海道ファミリーハウス

—NPO法人—

北海道

ファミリーハウス通信

2008年12月 1日発行/No.3

発行:NPO法人北海道ファミリーハウス
責任者:事務局長 神戸 智子
060-0807札幌市中央区北7条西6丁目
TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162

全国ネットワーク会議開かれる

〜愛する子ども達のために よこはま会議〜

十一月九日 神奈川県立こども医療センター

十一月九日神奈川県立こども医療センター（横浜）において、JH H H（日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス）第九回全国ネットワーク会議が開催され、北海道から沖繩までファミリーハウス運動に取り組んでいる団体などから八十名余りが参加しました。

今年の会議のテーマは、
一、施設の基本理念をいかに運営に反映させるか

二、患者・家族滞在施設の認知度向上のため
に出来ることは
・・・と題して、団体報告やパネルディスカ



ッションが行われ、参加者からも多くの意見が出されました。会議の冒頭あいさつにたった大濱用克神奈川県立こども医療センター所長は、「昭和四十五年に病院が出来たとき、隣地の一角で母子棟設置

の考え方があった。しかし、当時は理解され実現するまでには至らなかった。地方から出産を含む高度医療を受けるにはハウスは必ず必要な施設である。当センターにも『リラのいえ』が六月にオープンした。第二のわが家として利用してもらいたい。・・・と述べられました。また会議の中で、滞在施設に関する社会の認知度に関する調査報告がなされ、十一月、十二月を「認知度向上キャンペーン月間」として取り組むことを改めて確認しました。

全国会議の開催に先立ち、患者・家族のための滞在施設「リラのいえ」の見学会が行われました。三頁に掲載しますのでご覧ください。



JH H H（日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス）自宅を離れて専門病院で治療を受ける子どもと家族がそろう滞在できる宿泊施設のこと。「わが家」のような温もりを持ったハウスは、不安な家族を支え、子どもの治療への意欲を引き出すと言われ、トータルケアの一端を担っています。

オーナー会議開く

十月十七日



十月十七日 エルプラザにおいてオーナー（滞在施設提供ボランティア）会議を開催し、運営に関わる意見交換などを行いました。とりわけ今回の会議では燃料高騰による対応策として、就学前の子どもが利用する際の利用料補助や、利用料金の見直しなどについて話し合いが行われました。※ファミリーハウスの所在地や利用方法、利用料金などについては、ホームページをご覧ください。

<http://www3.snowman.ne.jp/~h-family/>

■ファミリーハウス利用申し込み、お問い合わせ
わせは事務局までお願いします

事務局

月曜日～木曜日
午前十時～午後四時